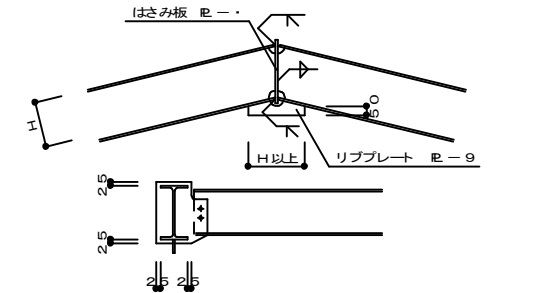
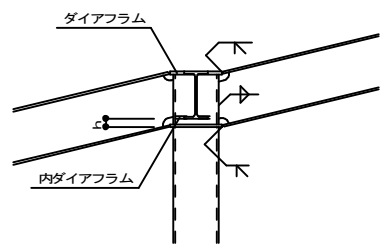
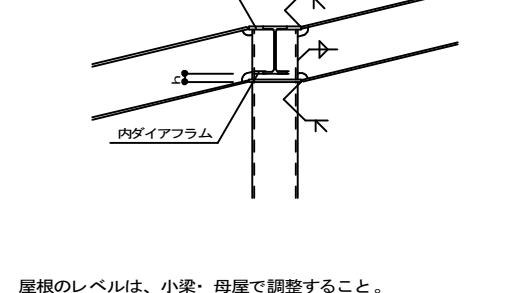
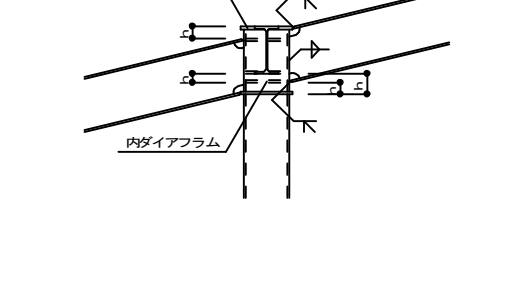
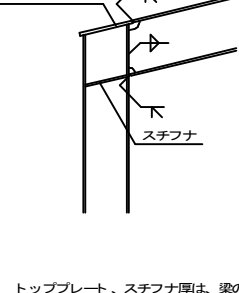
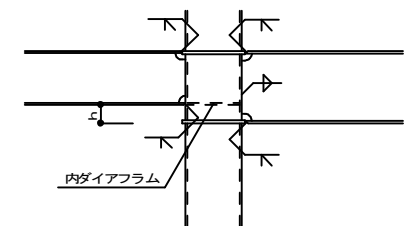
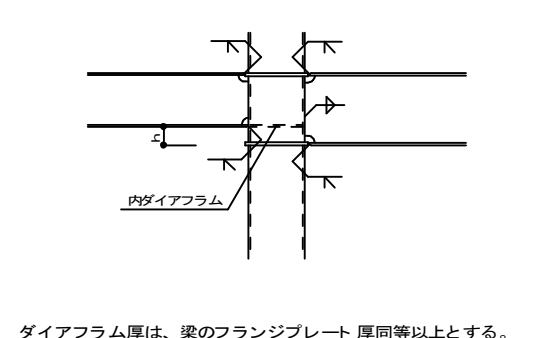
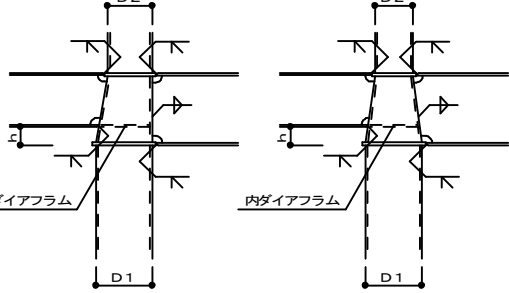
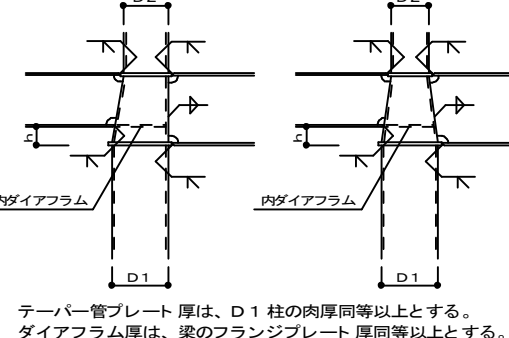
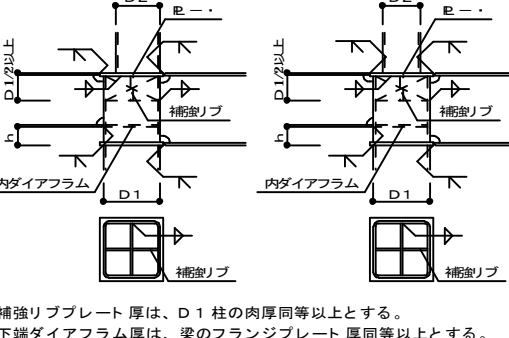
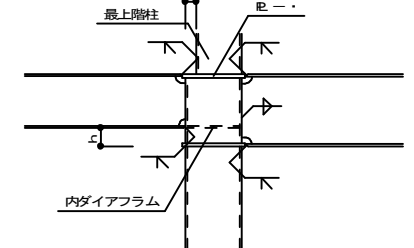
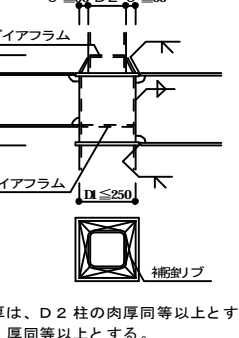

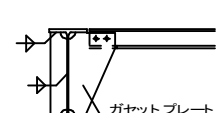
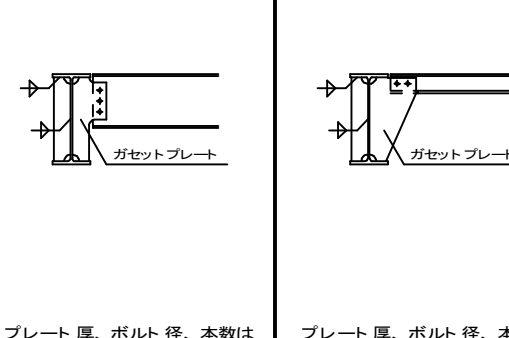
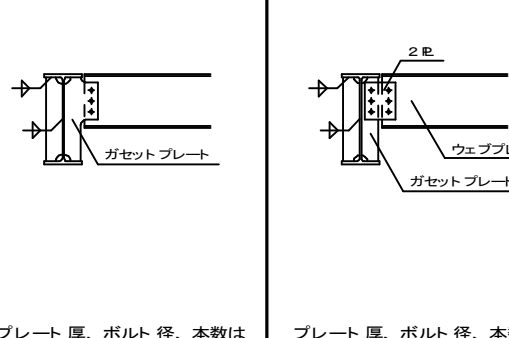
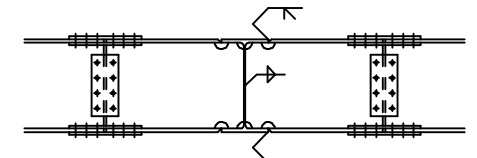
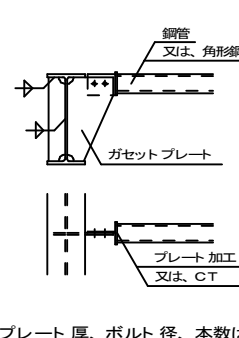
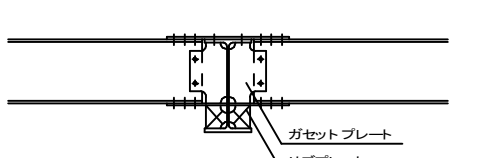
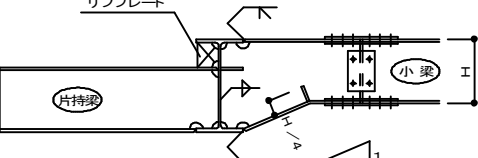
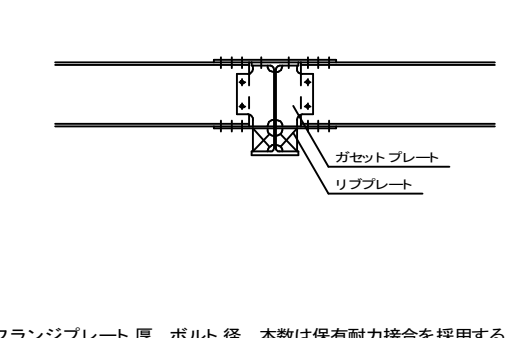
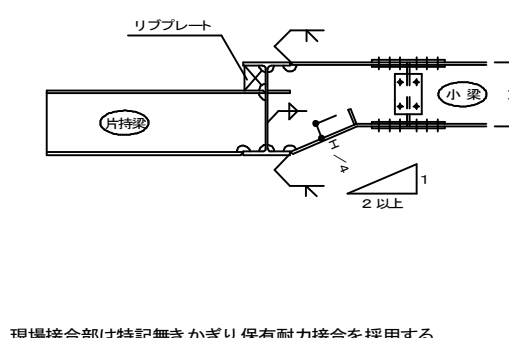
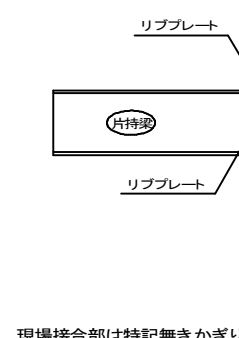
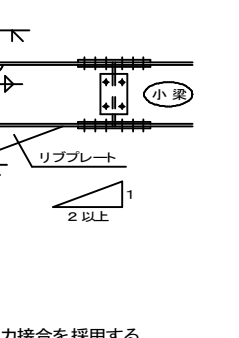


鉄骨部分詳細図

●採用は☑印を記入

A-1	山形ラーメン棟部継手(リブプレート付)	● B-1	山形ラーメン柱頭部仕口	B-2	山形ラーメン柱頭部仕口	B-3	山形ラーメン柱頭部仕口	B-4	H鋼仕口部	B-5	H鋼仕口部
A-2	山形ラーメン棟部継手(リブプレート無)										
 <p>リブプレート厚は、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p>		 <p><math>h \geq 100</math> の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>屋根のレベルは、小梁・母屋で調整すること。 <math>h \geq 100</math> の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p><math>h \geq 100</math> の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>トッププレート、スチフナ厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。</p>		 <p>スチフナ厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。</p>	
C-1	柱・梁 仕口部	C-2	柱・梁 仕口部	C-3	異径管継手部(テーパ管形式)	C-4	異径管継手部(補強リブ形式)	C-5	異径管継手部(はかま形式)		
 <p>ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 <math>h \geq 100</math> の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>補強リブプレート厚は、梁のフランジ厚同等以上とする。 ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。</p>		 <p>テーパ管プレート厚は、D1 柱の肉厚同等以上とする。 ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 <math>h \geq 100</math> の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>補強リブプレート厚は、D1 柱の肉厚同等以上とする。 下端ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 <math>h \geq 100</math> の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>補強リブプレート・D2 内ダイアフラム厚は、D2 柱の肉厚同等以上とする。 ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 <math>h \geq 100</math> の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>補強リブプレート・D2 内ダイアフラム厚は、D2 柱の肉厚同等以上とする。 ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 <math>h \geq 100</math> の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>	
C-6	異径管継手部(折版屋根等の軽微な場合)	C-7	異径管継手部	D-1	● D-2	D-3	D-4	D-5	D-6		
 <p>下端ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 <math>h \geq 100</math> の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>ダイアフラム厚(t)は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。</p>		 <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p>		 <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p>		 <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p>		 <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p>	
E-1	小梁剛接合	E-2	小梁剛接合	E-3	E-4	E-5	E-5	E-5	E-5		
 <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。</p>		 <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。 リブプレート厚さは、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p>		 <p>フランジプレート厚、ボルト径、本数は保有耐力接合を採用する。 ガセット・リブプレート厚は、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p>		 <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。 リブプレート厚は、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p>		 <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。 リブプレート厚は、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p>		 <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。 リブプレート厚は、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p>	

変更事項	MEMO	<p style="text-align: center;"><b>株式会社 西野設計</b></p> <p style="text-align: center;">鹿児島県出水市大野原町272番地 TEL0996-63-3016</p> <p style="text-align: center;">知事登録第1-20-120号 一級建築士大臣登録 第189570号</p> <p style="text-align: center;">西野正憲</p>	<p>工事名 矢岳第2 牧場肥育舎新築工事</p> <p>図名 鉄骨工事標準図 その4 ( 堆肥舎 B棟 )</p> <p>縮尺</p>	<p>図面番号 B-42 印</p> <p>製図 西野 検印</p> <p>平成30年 7月 8日</p>